



中部電力

浜岡原子力発電所
基準津波の策定のうち
歴史記録及び津波堆積物に関する調査について
(コメント回答(追加))

2023年12月6日

2.2 津波堆積物に関する現地調査

イベント堆積物の認定方法

- イベント堆積物の認定にあたっては、津波堆積物に見られる特徴（供給源、層相、平面的な分布）の各項目を検討し、総合的に判断し津波起因の可能性が否定できない地層をイベント堆積物（A～C）、否定できる地層をイベント堆積物ではない（E～H）と評価した。
- 評価の考え方は以下の表のとおり。
 なお、各項目の検討結果が異なる地層（B～G）については、陸起源のイベント堆積物には見られない津波堆積物の特徴である海起源（円礫等を含有する等）の可能性の有無（供給源）を重視して評価した。

イベント堆積物の認定方法

津波堆積物に見られる特徴 類型化の分類	供給源 (地層の成因を含む)	層相（構造の乱れ、 削り込み等）	平面的な分布 (連続性)	評価の考え方	評価
A	海 ^{*1}	有	有	津波起因の可能性が否定できない。	イベント堆積物
B	海 ^{*1}	有	無	津波堆積物ではない可能性もあるが保守的に評価。	イベント堆積物 (今回の調査では該当なし)
C	海 ^{*1}	無	有		
D	海 ^{*1}	無	無	構造の乱れ等もなく内陸に海起源の堆積物が孤立することは考え難いことから、追加の試料分析やボーリング調査によって精査。	追加評価で詳細確認 (今回の調査では該当なし)
E	河川・崩れ・植生等	有	有	地層の成因が、河川、崩れ、植生等と判断でき、津波起因の可能性が否定できる。	イベント堆積物ではない
F	河川・崩れ・植生等	有	無		
G	河川・崩れ・植生等	無	有		
H	河川・崩れ・植生等	無	無	津波起因の可能性を否定できる。	イベント堆積物ではない

*1 海起源の可能性が否定できないものも含む

2.2 津波堆積物に関する現地調査 イベント堆積物に関する評価結果

- 上下の地層と異なる層相の地層等について、津波堆積物に見られる特徴を踏まえ、層相（構造の乱れ、削り込み、押し引き構造の有無等）、平面的な分布（2点以上の連続的な分布の有無）、供給源（含まれる礫等より海・陸起源を判断）の各項目を検討し、津波起因の可能性を総合的に評価し、イベント堆積物を認定した。以下にその結果を示す。
- なお、追加ボーリング調査の結果、イベント堆積物は確認されなかった。

泥質堆積物中の地層

(イベント堆積物とした地層)

(イベント堆積物でないとした地層)

地層境界付近の砂泥互層

風成砂層中の地層

各地層のイベント堆積物の認定に係る根拠の詳細は補足説明資料2章を参照

調査地点	地層 No.	津波堆積物に見られる特徴		平面的な分布	類型化の分類	イベント堆積物
		供給源(地層の成因を含む)	層相(構造の乱れ削り込み等)			
菊川	K1-①	海	有	有	A	○
	K1-②	海	有	有	A	○
	K1-③	海	有	有	A	○
	K2-①	海	有	有	A	○
	K4-①	海	有	有	A	○
	K4-②	海	有	有	A	○
K4-③	海	有	有	A	○	
敷地西側	W9-②	海	有	有	A	○
	W14-⑤	海	有	有	A	○
	W14-⑥	海	有	有	A	○
	W14-⑦	海	有	有	A	○
	W15-④	海	有	有	A	○
	W15-⑥	海	有	有	A	○
	W18-③	海	有	有	A	○
敷地東側	E1-④	海	有	有	A	○
	E2-①	海	有	有	A	○
	E2-②	海	有	有	A	○
	E3-②	海	有	有	A	○
	E4-②	海	有	有	A	○
	E4-③	海	有	有	A	○
	E5-②	海	有	有	A	○
	E6-⑥	海	有	有	A	○
	E6-⑦	海	有	有	A	○
	E6-⑧	海	有	有	A	○
	E7-①	海	有	有	A	○
	E7-③	海	有	有	A	○
	E13-①	海	有	有	A	○
E16-①	海	有	有	A	○	
E17-②	海	有	有	A	○	

調査地点	地層 No.	津波堆積物に見られる特徴		平面的な分布	類型化の分類	イベント堆積物
		供給源(地層の成因を含む)	層相(構造の乱れ削り込み等)			
菊川	K3-①	*1	無	*1	*1	×
	N1-①	河川	有	無	F	×
新野川	N1-②	河川	有	有	E	×
	N1-③	河川	有	有	E	×
	N2-①	河川	有	有	E	×
敷地西側	W9-③	崩れ	有	有	E	×
	W15-③	崩れ	有	無	F	×
	W15-⑤	崩れ	有	有	E	×
	W15-⑦	崩れ	有	有	E	×
	W19-③	崩れ	有	無	F	×
	W21-①	崩れ	有	無	F	×
	敷地東側	E3-③	崩れ	有	有	E
E4-④		崩れ	有	有	E	×
E7-②		崩れ	有	無	F	×
E12-①		崩れ	有	無	F	×
敷川	E16-②	崩れ	有	無	F	×
	E17-①	崩れ	有	無	F	×
	E22-①	崩れ	有	無	F	×
	O1-③	崩れ	有	有	E	×
O1-④	崩れ	有	無	F	×	
O2-①	崩れ	有	有	E	×	

調査地点	地層 No.	津波堆積物に見られる特徴		平面的な分布	類型化の分類	イベント堆積物
		供給源(地層の成因を含む)	層相(構造の乱れ削り込み等)			
敷地西側	W9-①	植生	有	有	E	×
	W14-④	植生	無	有	G	×
	W15-②	植生	無	有	G	×
	W18-②	植生	有	有	E	×
敷地東側	E1-③	植生	無	有	G	×
	E3-①	植生	無	有	G	×
	E4-①	植生	無	有	G	×
	E5-①	植生	無	有	G	×
E6-③	植生	無	有	G	×	

*2 地層境界付近の砂と腐植層の互層は、飛砂の供給により沼地が干上がり砂丘に覆われる過程で形成されることから、地層境界に沿って平面的な分布が認められると考えられる。

調査地点	地層 No.	津波堆積物に見られる特徴		平面的な分布	類型化の分類	イベント堆積物
		供給源(地層の成因を含む)	層相(構造の乱れ削り込み等)			
新野川	N3-①	植生	有	無	F	×
	N3-②	植生	無	無	H	×
	N3-③	植生	有	無	F	×
敷地西側	N4-①	植生	有	無	F	×
	N4-②	植生	有	無	F	×
	W14-①	植生	無	有	G	×
	W14-②	植生	有	無	F	×
	W14-③	植生	無	無	H	×
	W15-①	植生	無	有	G	×
	W18-①	植生	無	有	G	×
	W19-①	植生	無	無	H	×
	W19-②	植生	無	無	H	×
敷地東側	E1-①	植生	無	無	H	×
	E1-②	植生	無	無	H	×
	E6-①	植生	無	無	H	×
	E6-②	植生	有	無	F	×
	E6-④	植生	有	無	F	×
敷川	E6-⑤	注入	有	無	F	×
	O1-①	植生	無	無	H	×
	O1-②	植生	無	無	H	×
	O4-①	植生	無	無	H	×
	O5-①	植生	無	無	H	×

記号の凡例

検討項目	記号	津波堆積物に見られる特徴を踏まえた検討結果
層相(構造の乱れ、削り込み等)	有	構造の乱れ、削り込み(傾斜した境界面を含む)、押し引き構造等が認められる。
	無	上記が認められない。
平面的な分布	有	2地点以上で連続的に分布が認められる(海側まで連続しないものも有と表記)。
	無	連続的な分布が認められない。
供給源(地層の成因を含む)	海	円礫等から海起源と判断される(供給源として、下記の河川、崩れ、植生、注入に該当しないが、海起源の可能性が否定できないものも含む)。
	河川	粗砂、淘汰の悪い砂礫等であり、河成砂礫と判断される。
	崩れ	相良層群の泥含礫等であり、基盤岩等の再堆積(崩れ)と判断される。
	植生	風成砂層中に狭する泥質層であり、砂丘を覆う植生もしくは局所的な水たまりでできた腐植層・シルト層と判断される。
	注入	堆積層の上下の境界面に火炎状の乱れがあり、液状化により砂が注入したものと判断される。
イベント堆積物	○	津波起因の可能性が否定できないことから、イベント堆積物と評価
	×	津波以外の成因であると考えられることから、イベント堆積物ではないと評価



中部電力